



## 多摩キャンパスは

晩秋を迎えています。

今年は暑かった夏の後に秋が瞬く間に過ぎ、すでに木枯らしの吹く冬も間近となりました。学生たちは後期授業に専念しております。

多摩キャンパスでは、十月三十一日から十一月四日まで白門祭が行われました。総来場者数は五万人を超える関東最大級の学園祭で今年で第

五十二回を迎えました。

### 中條 誠一 教授

#### 《最終講義》

日時：二〇一九年一月二十一日(月)

十五時～十六時三十分

場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八二二〇六号室

テーマ：「国際金融の現場から学んだこと、伝えたかったこと」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十一日(月)

十七時～十九時

場所：中央大学多摩キャンパス

一号館一四一〇号室

### 長谷川 聰哲 教授

#### 《最終講義》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十五時～十六時三十分

場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八二二〇六号室

テーマ：「経済貿易と関税の経済学」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十七時～十九時

場所：中央大学多摩キャンパス

ヒルトツップ二階西側

会費：五千円(ただし、学生・院生

は千円)

## 山本幹雄さんを偲ぶ会

日時：二〇一九年一月二十四日(木)  
十一時～十二時三十分  
場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八三〇一号室

テーマ：「社会政策の現代的課題」

ディーセント・ワーカーを目指して」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十四日(木)

十三時～十五時

場所：中央大学多摩キャンパス

一号館一四〇八号室

テーマ：「国際金融の現場から学んだこと、伝えたかったこと」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十五時～十六時三十分

場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八三〇六号室

テーマ：「経済貿易と関税の経済学」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十七時～十九時

場所：中央大学多摩キャンパス

ヒルトツップ二階西側

会費：五千円(ただし、学生・院生

は千円)

会費：五千円(ただし、学生・院生  
は千円)

鷺谷 徹 教授  
《最終講義》

日時：二〇一九年一月二十四日(木)  
十一時～十二時三十分  
場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八三〇一号室

テーマ：「社会政策の現代的課題」

ディーセント・ワーカーを目指して」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十四日(木)

十三時～十五時

場所：中央大学多摩キャンパス

一号館一四〇八号室

テーマ：「国際金融の現場から学んだこと、伝えたかったこと」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十五時～十六時三十分

場所：中央大学多摩キャンパス

八号館八三〇六号室

テーマ：「経済貿易と関税の経済学」

#### 《記念パーテイー》

日時：二〇一九年一月二十五日(金)

十七時～十九時

場所：中央大学多摩キャンパス

ヒルトツップ二階西側

会費：五千円(ただし、学生・院生

は千円)

長年に渡り、白門経友会に貢献された山本幹雄さんが去る十月六日に八歳で逝去されました。十二月七日に多摩センターにて忍悲会を行いました。

山本さんは一九三七年大分県に生まれ、家族で中国へ移住し、終戦の年に松山へ帰り、一九六〇年に本学部を卒業されました。卒業後、(株)協和の社長として活躍し上海、蘇州と東京を行き来され三十年間にわたりピアノを中国に寄付され日中交流に貢献されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



\*\*\*\*\*

## 中央大学高校において「遠隔授業」科目等履修制度が開始されました。

本年度より、多摩キャンパスで行われる経済学部の講義『後期・「経済学入門」(武田勝准教授)』をインターネット中継で、本校教室にて受講できる制度が始まりました。十四週が講義・試験と課題レポートによって評価される点においては、高校生だからという手加減はありません。一定の評価基準に達した者には、経済学部に進学した際に単位が認定されます。今年度は、三年二十三名、二年四名の計二十七名が受講しています。

講義は、武田先生のレジュメが配布され、講義中は多摩キャンパスと同じ画面を見ます。内容については、経済学を学ぶことの意義からスタートして、最近では昭和から平成までのGDP変動の理由について、経済学的観点で考察するという授業が行われていました。はじめは、武田先生も遠慮されたせいか、主に多摩キャンパスの大学生に質問をされていましたが、今は、高校生にもよく問が投げかけられます。突然指名されるので高校生も油断ができます。



### 経済学部の特色のある活動

前述の高大連携事業としての中央大学高校との遠隔授業などの他、最近の特色のある学部活動についてご案内させていただきます。

#### 《ゼミナール》

経済学部では、自分の興味のある一つのテーマを二年次から四年次まで三年かけてじっくり研究し、本質

。武田先生の明るい人柄と、ときどき垣間見える学問への厳しさが入り混じて、生徒達にとってはまさに大学への「ゲートウェイ」となっていると感じています。

来年度からは、より高度な会議システムを導入することも決まっています。経済学部においては、本校はじめ他の附属高校との様々な高大連携プログラムが実施されており、今後もより一層の充実が期待されます。(本記事は、中央大学高校・梅原弘文先生、仲森友秀先生から投稿いただきました)

生から政策提言したりと、特徴的な活動をしているゼミもあります。ゼミは所属する学科にかかわらず、全十六の分野、約六十テーマから興味のあるものを選択することができます。

なお、ゼミの全体的な活性化のために経済学部ゼミナール連合会があります。当ゼミナール連合会は、ゼミナール同士の交流機会を創出し、研究活動が活性化するよう、さまざまなイベントを企画・運営している学生主体の団体です。例年十月に、『経済学部プレゼンテーション大会』というゼミ対抗の研究発表大会を開催しております。

#### 《グローバル人材育成》

経済学部では、地球規模で活躍できる人材の養成のため、充実した独自のプログラムを開拓しています。

##### 一、海外インターンシップ

授業を通して国際的感覚や知識、ビジネスマナー、語学力を身につけとともに、実際に海外の企業での研修を経験することにより、国際的な視野を持ち、働きの場を世界に拡

に迫るゼミ活動への参加を奨励しています。ゼミによっては海外で実地することをねらいとしています。

#### 二、グローバル・フィールド・スタディーズ

世界で起こっている様々な経済問題を解決するために、現場で考え、現場で行動することができる人材が求められている中、経済学部の多くのゼミが、活動の一環として海外へ実地調査に行き、研究活動を行っています。

世界で起こっている様々な経済問題を解決するために、現場で考え、現場で行動することができる人材が求められている中、経済学部の多くのゼミが、活動の一環として海外へ実地調査に行き、研究活動を行っています。

#### 三、グローバル・リーダーズ・プログラム

グローバルな世界で、リーダーとして活躍できる資質を備えられる学生の養成をめざしたプログラムです。ゼミを基盤とし、世界の各地域におけるさまざまな課題について、学生自身が調査、分析、改善のための提案、プレゼンテーション等を行います。

#### 《キャリア教育》

経済学部では、自立した社会人・職業人としての自己実現を目指し、自らの将来設計について考えるための手助けとなる「キャリア科目」に入力を入れています。

##### 一、ビジネス・プロジェクト講座

一年生を対象とした企業との産学連携による次世代プログラムです。

入学直後の早い段階から、民間企業の取り組みを実体験し、学生がみずから主体性を引き出すとともに、社会で必要なスキルを認識し、以降の学生生活につなげることをねらいとっています。

**【協力企業】**

日本航空株式会社、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、株式会社日本アクセス、株式会社永谷園、株式会社東急エージェンシー、株式会社ニチレイロジグループ、株式会社ミライト、リコージャパン株式会社

**二・インターンシップ**

インターンシップとは「学生がみずから専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う」制度です。経済学部では、この制度の有効性に着目し、全国の大学に先駆けて一九九三年度に正規の授業科目として導入しました。以来二十年以上に及ぶ実績と成果から、受入先の自治体や企業の数も年々増加し、自分の興味や将来の希望に沿って選択することができます。また、事前・事後学習は、専門の実務家が担当し、専門分野の講義からビジネススキル、日常的なマナーまで手厚い指導を受けることができるのも大きな魅力です。

【受入先機関・企業】 自治体	
国立市役所、稻城市役所、八王子市役所、所沢市役所、小平市役所、多摩市役所、府中市役所、調布市役所、立川市役所、三鷹市役所、小金井市役所、板橋区役所、杉並区役所、中野区役所、江東区役所、東京二十三区清掃一部事務組合、特別区人事・厚生事務組合、東京都政研究会	コース(関連施設にて見学調査)
日立製作所、協和エクシオ、東京書籍、近畿日本ツーリスト、内田洋行、日本データリンク、野村證券、S C C、V T V ジャパンほか	民間企業
H C アセットマネジメント、住友生命、セコム損害保険ほか	金融
読売新聞社、東京新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本ケーブルテレビジョン	ジャーナリスト
海外の現地企業及び日系企業(アメリカ・イギリス・オーストラリア・ベトナムほか)、海外の白門会「中央大学O B会」(ロサンゼルス)、今後はタイ、インドネシア、シンガポールを予定	海外インターンシップ

国名	日数	受入人数	実習内容
アメリカ (ロサンゼルス)	2週間	6名	・ロサンゼルスエリアの様々な企業(日系、現地企業)を訪問し、インタビュー形式で対話することにより、海外で働くことや自らのキャリアについて考え、視野を広げるための企業訪問プログラム。 (訪問先)FEDEX、ウォルマート、Manufactures Bank、井村屋、ズボン、自動車、シートンホール、会計事務所、JETRO等
イギリス (ロンドン近郊)	7日間	4名	・企業向けの研修プログラム等を提供する企業での実習。少人数のアットホームな現地企業である。 (実習内容)デスクワーク、会議同席、営業同行、企業に対するプレゼンテーションほか
アメリカ (サンフランシスコ)	2週間	2~3名	・現地在住の日本人向けの情報誌(フリーペーパー)や情報番組を制作する会社での実習。 (実習内容)営業同行、取材、イベント企画、現地企業訪問・インタビュー、現地大学訪問ほか
オーストラリア (シドニーほか)	3週間 ~ 4週間	10名	・語学力、希望に合わせて実習先が決定。原則、1機関につき1名の受け入れ。 (実習先)現地/日系企業でのオフィスワーク、ショップ(カフェ・土産屋等)での接客、高校の日本語教育のアシスタント、幼稚園での保育サポートほか
ベトナム (ホーチミン) *2018年度新規派遣先	4週間	10名	・使用言語は、日本語(企業により英語・ベトナム語) (実習先)現地/日系企業(旅行会社、広告・メディア、コンサルティング、IT企業ほか)でのオフィスワークや、営業同行ほか
フィリピン (マニラ)	2週間	10名	・ツーリズム関連の政策提言等を行う。マニラ随一の五つ星ホテルでのホテル業実務研修も行う。
マレーシア (クアラルンプール)	3週間	6名	・1週間の英語研修の後、ホテルで約2週間のインターンシップを行う。
タイ (バンコク)	3週間	6名	・ツーリズムというテーマのもと、現地の観光庁やJTBの現地オフィスで実習を行う。バンコク市内のホテルでのホテル業実務研修も行う。
タイ (バンコク)	2週間	8名	・顧客との資料準備・物流センターの受発注業務のフォロー ・Bakery工場での配達業務・マーケティング業務のフォローほか
中国 (吉林省延辺自治区延吉市)	10日間	6名	・ITサービス業の仕組みを知り、日本と中国との業務の進め方の違いを学ぶ。 ・中国シンポジウムの情報の社員や現地にある延辺大学の学生との交流により、習慣、思考、価値観の違いを知る。 ・中国、延吉での各視察を通じて、異文化を理解して見聞を広める。
ベトナム (ホーチミン、ダラット、ハノイ)	12日間	10名	ホーチミン:同志社大学・ホーチミン工科大学・中央大学学生でチームを構成し、“人材採用課題”解決に取り組む。 ハノイ:GAコンサルタントでは、人材紹介企業インターン生として、企業訪問等を通してベトナムにおける「人材ビジネス」を学ぶ。

## え、あの先生がシリーズ<sup>(27)</sup>

経済学部 中川 康弘



</p